



うき・の金具周辺に髪の毛などが大量にからみ合つとポンプ(一定量になつたら送り出す)が正常に動かない。

風呂場や洗面所の排水口に髪の毛が詰まっています。髪は分解しにくく、汚物が引っかかりやすくなります。また詰まる原因にもなります。こまめに取り除き、下水に流さないようにしてね。



**髪の毛、布屑など流さない**

油類は、管が詰まる最大の原因。管がドロドロに汚くなったり、処分場では油をなかなか分解できません。フライパンなどに付いた油は必ず紙などに染み込ませるか、市販の食用油処理剤などを利用して可燃ごみとして出してね。処理水をきれいに川へ戻すためにも油は絶対に流さないでね。



**水洗トイレでトイレレットペーパー以外は流さない**

ティッシュペーパーは水に溶けないんだよ。知ってた？だから水に溶けない紙や紙おむつ、生理用品、タバコ、ガムは下水管が詰まる原因やマンホールポンプの故障となるので絶対に流さないでね。



**水銀、農薬、殺虫剤など有害物質は流さない**

汚物を細かく分解してくれ



**ガソリン、石油など危険物は流さない**

それは微生物たち。有害物質が流れてくると死滅して処理場全体の機能を損つてしまうんだよ。



生理用品が原因で詰まってしまったマンホールポンプ



**宅内の排水設備の点検を**

これらの危険物は爆発や火災を招く恐れがあり大変危険。絶対に流さないでね。

汚水を確認できる、各家庭にある排水ますには野菜くずなどが溜まりやすいんだ。こまめに掃除をしてね！以上のことを守って上手に正しく使いましょ！

**下水道に関する問い合わせ先**

工事や設備に関すること

上下水道課下水道係

☎64-5884

料金に関すること

上下水道課業務係

☎64-5883

**【注意】**

**下水管の清掃をすすめる業者について**

最近市内の各家庭を下水管の清掃業者が訪問し、清掃を勧めています。内容は「下水道の点検が年に一度は必要です。下水管を点検させて欲しい。」「下水管に汚水が溜まっているので清掃しないと管が詰まります。」などです。

市役所では、業者にそのような点検や清掃の委託は行なっていません。

下水管の清掃をしようとするときは、まず自宅の下水管を施工した業者に相談されることをお勧めします。



**下水道、正しく使っていますか？**

異物がポンプに詰まり、運転できなくなった破砕機

**※用語解説**

**●個別合併浄化槽**

主に下水道や農業集落排水施設で処理することが適当でない地域を対象としている。原則として住宅戸数20戸未満。耐用年数は30年。

**●公共下水道**

下水道法に基づき、主に市街地を対象地域としている。対象人口は特になく、雨水・汚水(生活雑排水・し尿)をきれいにしている。耐用年数は40-50年。

**●特定環境保全公共下水道**

下水道法に基づき、市街化区域以外を対象地域としている。また自然環境の保全、生活環境の改善を図る目的もある。対象人口は1,000人~10,000人。雨水・汚水、耐用年数とも公共下水道と同じ。

**●農業集落排水処理施設**

農業振興地域の整備に関する法律に基づく農業振興地域を対象地域としている。対象人口は、原則として概ね1,000人以下。雨水・汚水、耐用年数とも公共下水道と同じ。

**●コミュニティ・プラント**

廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づいている。対象地域に制限はなく、対象人口は101人~30,000人としている。雨水・汚水、耐用年数とも公共下水道と同じ。

※どれも雨水・汚水などの生活雑排水やし尿をきれいにしているが、目的や法律などが違うため、事業ごとに分かれている。



(上の写真の)破砕機の中のごみを出したら、こんなにたくさんのごみが詰まっていた。プラスチックボトル、カップ、ビニール、おもちゃ等々が入っていた。



**台所の調理くずは流さない**

台所から出る生ごみが私のところに流れてきます。生ごみを下水道に流すと管が詰まっちゃう。目の細かいゴミ受け網やバスケットを付け、流さないようにしましょう。



**天ぷら油などは流さない**

私たちの生活の中で普段何気なく利用している下水道をみなさんは正しく使っていますか？  
下水道は、生活排水(トイレや風呂水、台所などから流れてくる汚水)を流す管で、集まった汚水はきれいに処理され最終的には河川に放流しています。東御市には※個別合併浄化槽を除き、下水を集合処理している施設として、公共下水道の終末処理場1か所(東部浄化センター)、特定環境保全公共下水道の終末処理場1か所(川久保浄化センター)、農業集落排水処理施設10か所、コミュニティ

プラント3か所、大型合併浄化槽が3か所の計18か所あります。  
最近、写真にあるように普通では考えられないものが処理場に流れてきました。下水道を正しく使えば設備の寿命も長くなりますが、このような使い方では寿命も短くなり、最終的に市民の皆さんにご負担をお願いしなければなりません。  
そうならないために、今回は「げすいちゃん」に、下水道の正しい使い方を教えてもらいます。

**排出した後のメンテナンスを考えてほしいですね**



日立化成メンテナンス(株) 船田 智則さん

主に旧東部町の農業集落排水処理施設の維持管理をしている。

写真にあるとおり、実に様々なものが下水道処理施設に流れてきます。主に台所、風呂、トイレから流れてくるものなので、どうしてこのようなごみが流れてくるのか理解できないものもあります。

こうしたゴミや異物、有害物質は設備や機械の故障につながります。ポンプやモーターが壊れた場合、連絡が遅くなったり、処理が遅れたりすると、道から汚水があふれ出たり、ご家庭へと逆流する可能性もあります。故障など何かあった場合には、すぐにこちらに連絡が入りますが、その回数は年々多くなってきているように感じます。

流しても大丈夫だろうと思う前に処理する立場や市民の皆さんに迷惑がかかることを理解して欲しいと思います。環境によく、快適な下水道ですが、ルールを守って皆が大切に気持よく使えるようにご協力をお願いします。